

平成 30 年度



# 吉小だより

壺分小学校  
〒630-0222  
生駒市壺分町 356-1  
TEL : 0743-76-8615

## ◇ ニイハオ！ようこそ吉小へ ◇

11月2日(金)、中国清華大学付属北京海淀凱文学校の5年生48人が来校されました。最初に、運動場で、5年生が歓迎の気持ちを込めてエイサーを披露し、挨拶を交わしました。そして、各教室で、道徳の授業参観や音楽、ゲーム、折り紙などをしたり一緒に給食を食べたりして楽しい交流の時間を過ごしました。身振りや知っている英語を使って笑顔でコミュニケーションをとる姿が見られ、貴重な国際交流の経験になりました。



- でも、教えるのがすごくむずかしかったです。ぼくも英語をもっとしゃべれたらいいなと思いました。
- 給食の時間にやってきた子は、お見送りのとき、わたしに手をふってくれました。言葉は通じないけどこんなふうに、仲良くなれるものなんだなあとおどろきました。
- 帰るとき、友だちになった子とタッチしました。これが外国人と日本人の交流だなと思いました。 [子どもたちの感想より]

## ◇ みんなちがって、みんないい！ ◇

11月7日(水)に、全校なかま集会で、金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」の紹介と「自分のいいところをさがしましょう。」というお話を聞きました。そして、教室にもどって、自分のいいところを紙に書きました。今、図工室の前の掲示板には、「一人一人のいいところの花」が満開です。このような活動を通して、自己肯定感や自尊感情を育むとともに、互いの違いを認め合える仲間づくりを進めていきたいと思っています。



[なかまの木に咲いた花]

## ◇ 地域の「福祉」に学ぶ ◇

5年生の「つながり(総合的な学習の時間)」では、福祉の学習に取り組んでいます。今月7日に、地域活動支援センター「コスモールいこま」に通所されている方々から、精神障害についてのお話を聞きました。また、14日には、生駒市地域包括支援センターの職員の方から、どうして認知症になるのか、家族や近所に認知症のお年寄りがいたときに、どのように接すればよいのかなどを、劇を交えて分かりやすく説明していただきました。

そして、27日には、「かざぐるま」、「コスモールいこま」、「介護老人保健施設優楽」、「特別養護老人ホーム延寿」、「生駒市福祉センター」、「生活支援センターあけび」に、分かれて伺い、施設の見学や、職員・利用者の方との交流をさせていただきました。

このような学習を通して、自分の身近な福祉に目を向け、まず、知ること、そして、自分に何ができるか考え、行動する力を育てていきたいと思っています。



## ◇ 「なかよしあきまつり」で交流 ◇

11月27日に、1年生が壺分幼稚園・いちぶちどり保育園の年長さんを招いて、「なかよしあきまつり」を行いました。各教室では、木の実や落ち葉を使って、「どんぐり駒対決」や「さかなつり」、「楽器の演奏」、「アクセサリー屋さん」など、たくさんのコーナーを作り、1年生は、手をつないで園児さんを案内する役とコーナーで受付や遊び方の説明を担当する役に分かれて、大活躍しました。

このような、交流活動や職員間の話し合いを重ねながら、子ども同士、職員同士の相互理解が深まってきました。これからも、保育園・幼稚園での学びが、小学校の学習活動に円滑に接続されるよう、取組を進めていきたいと思っています。

